第6講

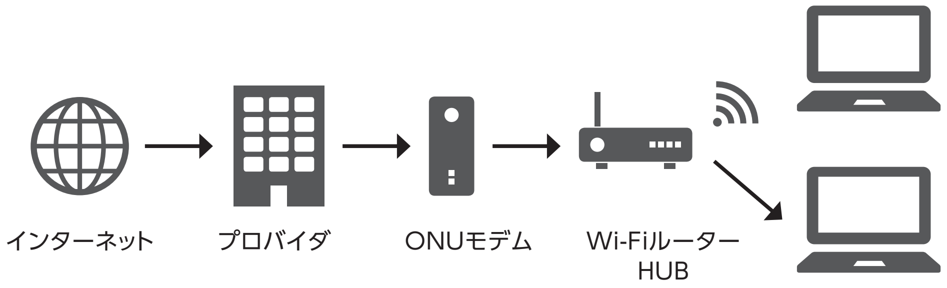
オンライン面接の対処法

チャプター1

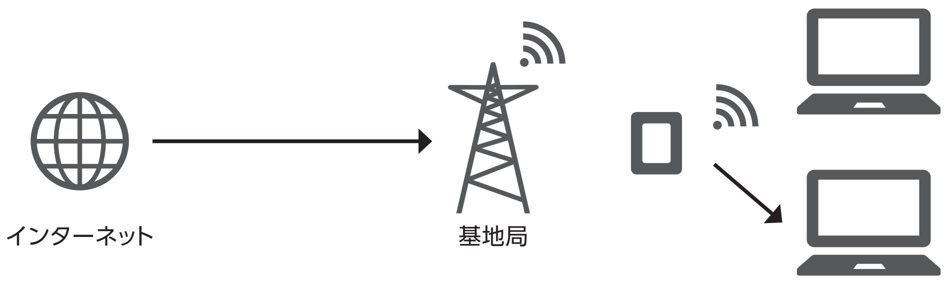
オンライン環境を整える

○ 固定回線・無線回線の違い

●固定回線



●無線回線



生徒メモ欄

教員記入欄

○ オンライン面接用のツール

1

2

3

○ 面接を受ける場所選び

1

2

3

4

5

6

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

オンライン面接のマナー

書き込んでみよう

○ オンライン面接の基本

基本的に［　　　　　　　　］に準拠する
服装は基本的に［　　　　　　　　］で

●発言の際のマナー

❶ 入室時

❷ 発言時

❸ 退室時

❹ 万が一の際

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

画面越しの自分の魅せ方

書き込んでみよう

○ オンライン面接での注意事項

1 目線

2 マイク

3 ツールの活用

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

面接試験までの準備・おわりに

書き込んでみよう

○ 事前準備のポイント

●生活のリズムを整える

1

2

3

●受験会場までの道のりを確認する

1

2

●忘れ物を防ぐ

入試要項に書かれている「　　　　　」

などを見て、必要なものを確認しよう

生徒メモ欄

教員記入欄

書き込んでみよう

○ 持ち物チェックリスト

●必ず持っていくもの

1
2
3
4
5
6
7
8
9

●必要であれば持っていくもの

1
2
3
4
5 必ず ＿＿＿＿ にカバンに入れておこう

生徒メモ欄

教員記入欄

おわりに

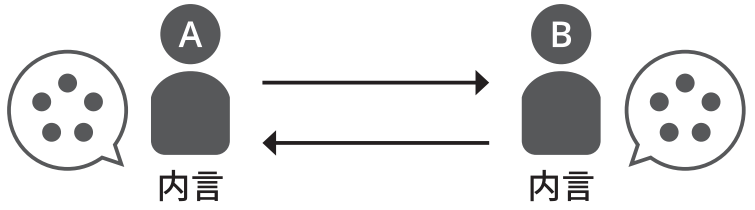
面接試験は総合型選抜・学校推薦型選抜対策の「集大成」です。なぜ志望校に進学しようと決意したのか、あなたにはどういう特性や才能があるのか、どんな未来を望んでいるのか、その中で学問をどう捉えるのか。こうしたことを懸命に考え、実行してきたあなたの姿が、面接では相手に伝わります。

この講座では、総合型選抜・学校推薦型選抜の試験の中で合否に大きく関わる面接試験の対処法を伝えてきました。その中で、公の場でどう振る舞えばよいのか、どういった回答が望ましいのか、ということを学ぶとともに、改めて大学への進学理由や自己のあり方について振り返ることができたのではないでしょうか。

面接試験の会場ではあなた一人で戦うことになります。この講座で私が伝えたかったのは「本気で頑張ってきたあなたなら、誠実に、熱意を持って伝えれば大丈夫だ」ということです。もちろん試験のプレッシャーは計り知れません。でも、それは他の受験生も同じですから、あなたも周りも条件は同じです。そうしたことで一喜一憂するのではなく、今まで積み重ねてきた過程を振り返り、あなたの情熱、思考、行動、そして、描きたい未来を伝えてくればよいのです。

そもそも面接試験は「みずもの」、つまり運や状況にも左右されます。面接官との相性もありますし、緊張であなたが伝えたいことが伝わらないこともあります。ですから、私は受験生に「面接当日はいつもの７割の実力が出せれば御の字だ、と思うくらいの気持ちで臨むのがよい」と伝えています。それでも、私の講座を通過した受験生であれば、おのずとそれまでの思考や行動や情熱が伝わるものです。

そう捉えると、この講座を受講する前のあなたと、今のあなたは遥かに変わったはずです。面接試験での振る舞い方や答え方、そしてその内容を丁寧に整理し、十分に準備しているわけです。これで、ようやく面接官と「対話（dialogue）」ができることでしょう。



この講座で、あなたは内言（頭や心で思っている内なる言葉）を数多く得てきました。志望校を選んだ経緯、体験、学問、未来、自己、情勢、他者など、行動や文献購読や他者からの話を通して、いろいろな体験を経て、知として体に取り込んできたはずです。

もちろん、面接官である大学の先生方も今までの人生の中で内言を取り込んでいます。あなたと大学の先生方は異なる環境で育ち、経験値も異なりますから、持っている内言は異なるということです。

対話（dialogue）は、互いの内言を差し出しながら、その知を組み合わせて、新たな知をつくりあげる手続きです。大学は研究機関であり、新たな知をつくる場ですから、まさに対話は欠かせないということなのです。

ですから、面接の場を単なる問答を行う場として捉えず、「対話を通して、大学の先生方と知をつくっていこう」という心構えで臨んでほしいと願っています。そして、大学の先生方も、本音ではそういう受験生に来てほしいと願っているのではないかと思うのです。

この経験はきっと見知らぬ人（とはいえ大学の先生方については調査しているとは思いますが）との意思疎通の難しさと、それを越えるためには入念な準備が必要であることを学んだわけですから、あなたにとっての自信や支えになるはずです。最後まで取り組んでくれたあなたは、きっとさまざまな価値観を持つ他者と手を取り合い、世界をつくる人になってくれると信じています。

この講座で養った実力をもとに、全力で試験に挑んでください。きっとあなたにとって素敵な大学生活が待っていることでしょう。私も、これからもあなたを応援します。これからもぜひ頑張ってください！

神﨑 史彦

巻末資料　面接　ルーブリック

ルーブリックとは、学習の達成度の評価指標を表で示したものです。縦軸は評価の観点、横軸は学習者の到達度を示します。なお、それぞれの評価基準を文章で表現していますが、抽象的に示していますので、評価基準の文章と自分の面接回答案や実際の面接練習の様子と照らし合わせ、まずは自分なりに「このあたりはできている（できていない）」という評価をしてみてください。そして、次のレベルに到達するにはどのようなことをする必要があるのかを考え修正してください。目安として、すべての項目がB評価以上になるように頑張ってみてください。

項目		評価ポイント	S	A	B	C	F
知識・技能	学部・学科の学びに必要な知識・教養	学部・学科での学びの理解に必要な知識（高校卒業までに身につけてほしいもの）をもとにした回答の明示	質問に対して、高校の課程を越えた知識をもとに回答している。	質問に対して、高校の課程を修了する程度の知識をもとに回答している。	質問に対して、高校の課程を修了する程度の知識としては一部不足するものの、おおよそそれらをもとに回答している。	質問に対して、高校の課程を修了して回答している部分と、そうとは言い難い部分がある。	質問に対して、高校の課程を修了しているとは言い難い回答をしている。
	高校における学力の習得	① 評定の推移、「指導上参考になる諸事項」、「備考」等、調査書の情報と受験生の回答内容との照合 ② 本学のカリキュラム修了が可能な学力が高校で身についていること	本学のカリキュラム修了が行える学力が十分に備わっている。	本学のカリキュラムが修了が見込める学力がおおよそ備わっている。	本学のカリキュラム修了が見込める学力について、一部不安要素がある。	本学のカリキュラム修了が見込める学力にばらつきがあり、不安要素が多分にある。	高校までの学力が乏しく、本学のカリキュラム修了が見込めない。
思考力・判断力・表現力等	質問の意図の理解	質問の意図を理解した回答	質問の意図を理解し、合理的かつ発展的な回答をしている。	質問の意図を理解し、合理的な回答している。	質問に対して、適切に回答している。	質問に対して回答しているが、質問者の意図を理解していない。（例えば、意図を理解する姿勢がないまま反論したり、知ったかぶりをしたりする。）	質問に対して、回答できていない。（例えば6W1Hに即した回答ができていないなど。）
	一貫した思考のもとでの判断	出願書類と発言内容の一致およびそれらをもとにした回答	出願書類や試験の内容と発言が一致・一貫しており、かつ発展的な回答を行っている。	出願書類や試験の内容と発言が一致・一貫している。	出願書類や試験の内容と発言が一部一致・一貫しないところがある。	出願書類や試験の内容と発言が一致・一貫しないところが多い。	出願書類や試験の内容と発言が一致・一貫しない。

巻末資料　面接　ルーブリック

項目		評価ポイント	S	A	B	C	F
思考力・判断力・表現力等	具体・抽象・複眼思考	① 回答の具体性 ② 具体的な説明の抽象化 ③ 対比等による複眼思考・メタ思考	具体・抽象を重ねながら、回答の説明を行っている。また、対比等を加えながら複眼思考で質問を捉えている。	具体・抽象を重ねながら、回答の説明を行っている。	具体・抽象を重ねながら、一部理解困難なものの、おおよその回答の説明が行えている。	回答の根拠の説明を促しても、具体的に説明できず抽象論で終えたり、具体的な回答が拡散したりして整理できない。	具体・抽象を交えながら回答ができていない。（例えば丸暗記と思われる回答をし、面接官が質問しても答えられないなど。）
	深い思考	回答の根拠の深掘り	表層的な回答ではなく、その問題が発生するシステムや価値観まで捉えて回答をしている。	表層的な回答ではなく、その根拠を深掘りして回答している。	表層的な回答ではなく、合理的な根拠を添えて回答している。	表層的な回答ではなく、根拠を添えているが、一部合理的な回答とは言い難い。	表層的な回答に留まり、根拠の合理性に乏しい。（例えば、自己に息づく文化や道徳観に対する考察なしに感覚・感情的な回答を述べるなど。）
主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	課外活動への積極的な参加	課外活動（正課外の活動全てを対象とする）への積極的な参加、特筆すべき成果	課外活動へ積極的に参加しており、特筆すべき成果を上げている。その中で、本学のカリキュラム修了に転用できるスキル・マインドを身につけているとみなすことができる回答をしている。	課外活動へ積極的に参加している。その中で、本学のカリキュラム修了に転用できるスキル・マインドを身につけているとみなすことができる回答をしている。	課外活動へ積極的に参加している。	課外活動へ参加しているものの、積極的に参加している様子が見られない。	課外活動に参加していない。
	主体性	（正課・課外全てを対象に）主体的な目標設定と努力	さまざまな場面において、たとえ苦手なことがあろうとも、自ら目標を定め、試行錯誤を重ねながら、目標達成に努めている。	志望学部・学科に関連する取り組みにおいて、自ら目標を定め、試行錯誤を重ねながら、目標達成に努めている。	自ら目標を定め、試行錯誤を重ねながら、目標達成に努めている。	目標を定めているものの、達成しようと努めている様子が見られない。	自分の力で目標を定められない。
	協働性	（正課・課外全てを対象に）周囲との協働性	さまざまな場面にあおいて、価値観の相違が発生しようとも、根気強く対話を重ねながら、自己を変容させながら協働しようと試みている。	さまざまな場面において、価値観の相違が発生しようとも、リーダーシップを主導的に発揮して、協働しようと試みている。	さまざまな場面において、周囲と協働して活動に取り組んだ。	周囲と協働して活動に取り組むこともあれば、そうでないこともあった。	周囲と協働して活動に取り組まなかった。